

猫と妻と布団に入り

ひのきが香る部屋で

今日も何事もなく一日が終わり

猫の鳴き声が寝息に変わるのを

小林 弥栄子

聞きながら 祈りながら、眠りに落ちる 明日も この日常が続くことを

ヒノキのかおり

甲斐 しんいち

雨

茶虎縞猫

時に優しく、時に厳しく、

いろんなものを流し去ってくれる。

雨よ

一人、独り。

強い雨で流し去っておくれ。

私の心の中にある闇を、

縋り付く思いで耳をそば立てても、 雨音の奏でる弾音は、ただ大地に打ち付けるのみ。

一人、独り。



資子 成澤